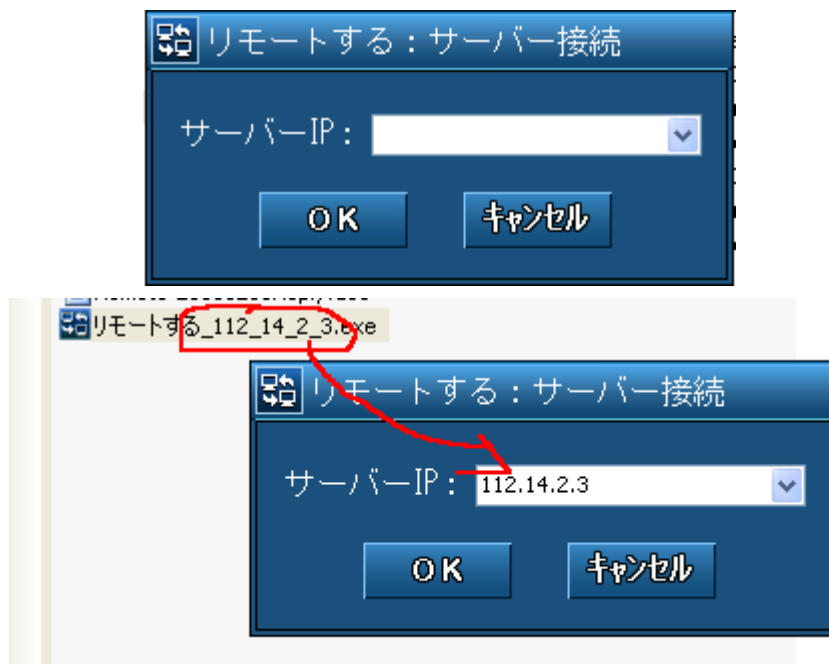


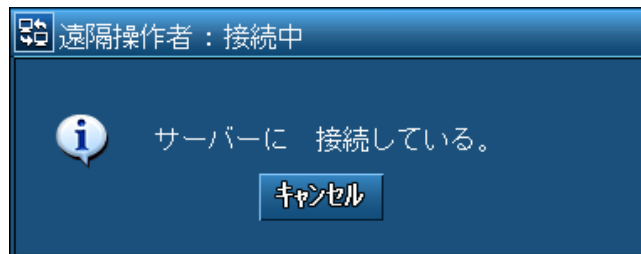
リモパ ユーザーマニュアル

1. リモートする（デスクトップオペレータソフト）

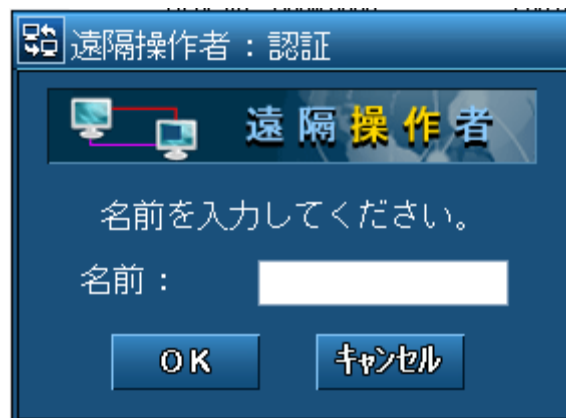
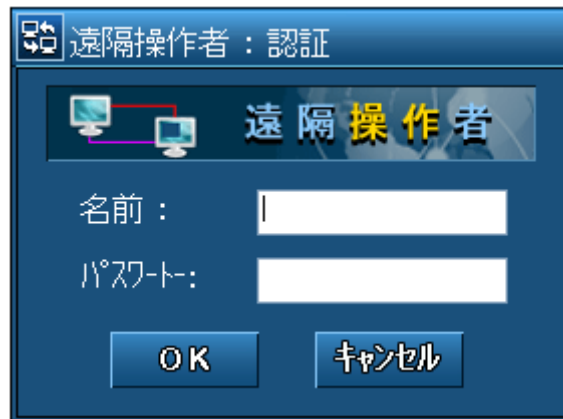
- リモートする.exeをデスクトップオペレータのPCにコピー（もしくはダウンロード）して実行させます。ファイル名にIPアドレスが指摘されている場合（たとえば「リモートする_112_14_2_3.exe」の場合）にはデフォルトでファイル名で指摘されているIPアドレスがサーバIPアドレスに反映されます。このとき必ず上のサンプルでのようなフォーマットに指摘する必要があります。



- 上の画面が表示されると、サーバアドレス目録からサーバを選択したり、もしくはサーバIPアドレスを入力して「OK」ボタンをクリックします。

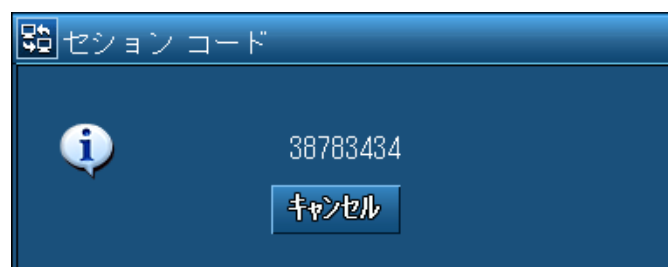


- 上の画面が表示された後、サーバに正常に接続できたら自動的に下記の画面の一つに遷移します。認証モードの場合には登録されたユーザー名とパスワードを入力する必要があります。非認証モードの場合にはユーザー名だけを入力するとそれでOKです。



- 上の画面で必要な情報を入力して「OK」ボタンを押すとサーバからセッションコードを受け取れます。

たとえば名前を「admin1」、パスワードを「admin1」のように入力して「OK」ボタンをクリックすると、セッションコードを表示するダイアログボックスが表示されます。

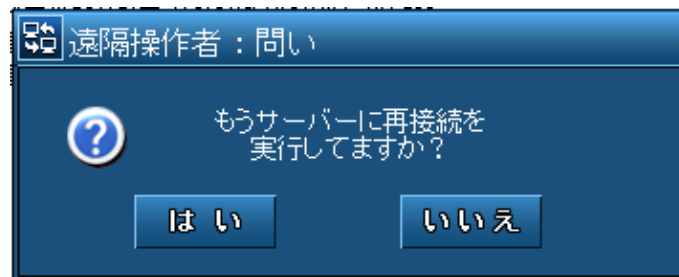


- このセッションコードを遠隔共有者(「リモート受け入れ.exe」を実行する側)に送って同じセッションに接続するようにします。

遠隔共有者がセッションコードを入力して遠隔操作者に接続すると、直ちに上のウィンドウはなくなり、遠隔共有者のデスクトップが遠隔操作者の解像度と一致される場合には全画面モードで一致しない場合には一般ウィンドウモードで遠隔操作者のディスプレイに表示されます。

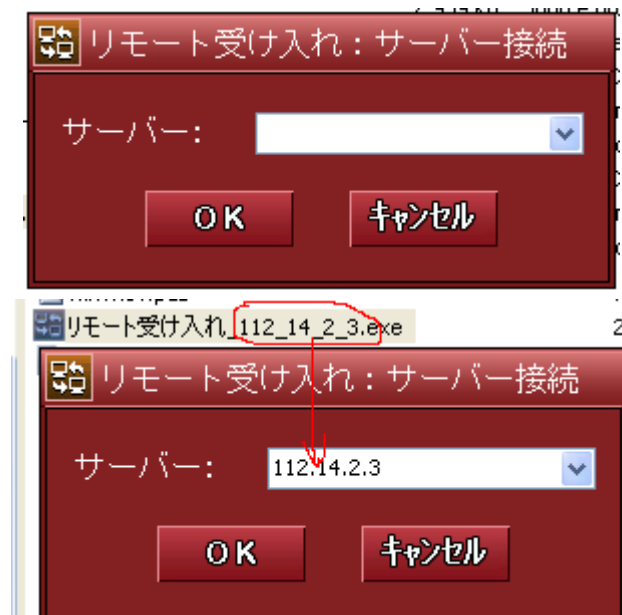
このとき、全画面モードの場合には下記のような操作バーが表示されます。このバーを利用してリモートソフトのウィンドウを操作できます。

- エラーが発生したり、接続切断になる場合には下記のようなダイアログボックスが表示されます。

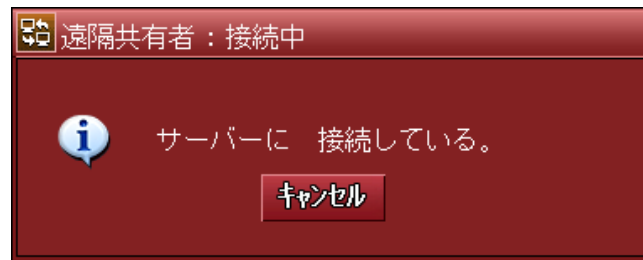


2. リモート受け入れ（デスクトップソフト）

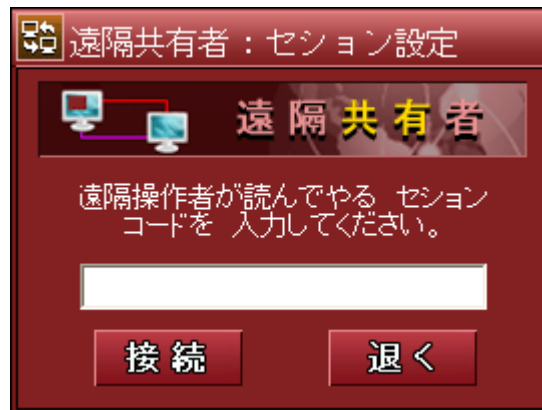
- 「リモート受け入れ.exe」をデスクトップに共有しようとするPCにコピー（またはダウンロード）して実行します。ファイル名にIPアドレスが指摘されている場合（たとえば「リモートする_112_14_2_3.exe」の場合）にはデフォルトでファイル名で指摘されているIPアドレスがサーバIPアドレスに反映されます。このとき必ず上のサンプルでのようなフォーマットに指摘する必要があります。



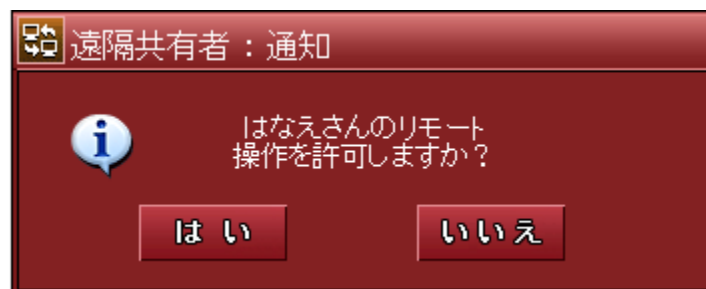
- 上の画面が表示されるとサーバIPアドレス目録から遠隔操作者と同じサーバIPアドレスを選択したり、もしくはIPアドレスを入力して「OK」ボタンをクリックします。




- 次は上の画面が表示され、サーバ接続に成功されると自動に下記の画面へ遷移します。




- セッションコードボックスに遠隔操作者が知らせてくれたセッションコードを入力して「接続」ボタンをクリックすると下記のようにユーザーのリモート操作を許可するかを確認するダイアログボックスが表示されます。このとき「ユーザー名」は遠隔操作者が入力したユーザー名になります。たとえば遠隔操作者がユーザー認証ウィンドウで「はなえ」の名前を入力した場合には下記のように表示されます。



「はい」ボタンをクリックするとタスクバーのアイコン領域に  アイコンが表示され、「RDDesk」サービスが起動しながら自己のデスクトップが共有されます。

「いいえ」ボタンをクリックした場合にはソフトを終了します。

上の  アイコンをマウス右クリックして接続解除したり、ソフト情報を確認することができます。

